

参天製薬 奈良研究開発センターにおける R I（ラジオアイソトープ）施設の廃止について

2021. 8. 6

参天製薬株式会社

奈良研究開発センター

①RI 施設でどのような業務を行っていたか

医薬品開発のため実験動物を用いた薬物動態に関する研究を実施していた。具体的には投与した薬物がどういった組織にどれくらいの量が分布するのかを見るための実験を行っていた。

②廃止に至った経緯

RI 利用が年々低下してきたため、RI 業務は今後全て外注して当事業所の RI 施設を廃止することとした。令和元年 12 月 17 日付けで国の原子力規制委員会に対し廃止届を行い、令和 2 年 3 月 26 日をもって奈良研究開発センターの RI 施設廃止完了日となった。

③どうやって撤去（処分）したか（安全な施設撤去について）

当 RI 施設に保管していた RI は全て専門業者により適切に回収もしくは他の施設へ適切に譲渡したため残存は無い。また当 RI 施設は専門業者によりクリーンアップされ、また適切にクリーンアップされたことを専門業者が確認し原子力規制委員会へ報告し受理された。現在旧 RI 施設は事務所エリアと同程度にクリーンであり安全である。

④今回、市への連絡が遅れた理由

原子力規制委員会へ RI 施設廃止届を提出し受理された後、生駒市消防本部より RI 廃止について確認連絡があったため、生駒市へも連絡がいつているものと判断した。そこで環境保全計画書の変更についても生駒市より指示があるものと勘違いしていたために提出が遅れた。

※環境保全協定書第3条において「環境保全計画書の内容を変更する場合には、速やかに変更計画書を提出し、甲と協議しなければならない」とある。

⑤再発防止策

生駒市と締結している環境保全協定書、生駒市学研高山地区環境保全対策基本指針を遵守し、今後何らかの変更があった際には速やかに生駒市環境保全課へ連絡、相談することにより抜け漏れの発生しないようにいたします。